

2013年3月期第2四半期 決算説明会資料

三井物産株式会社

2012年11月5日

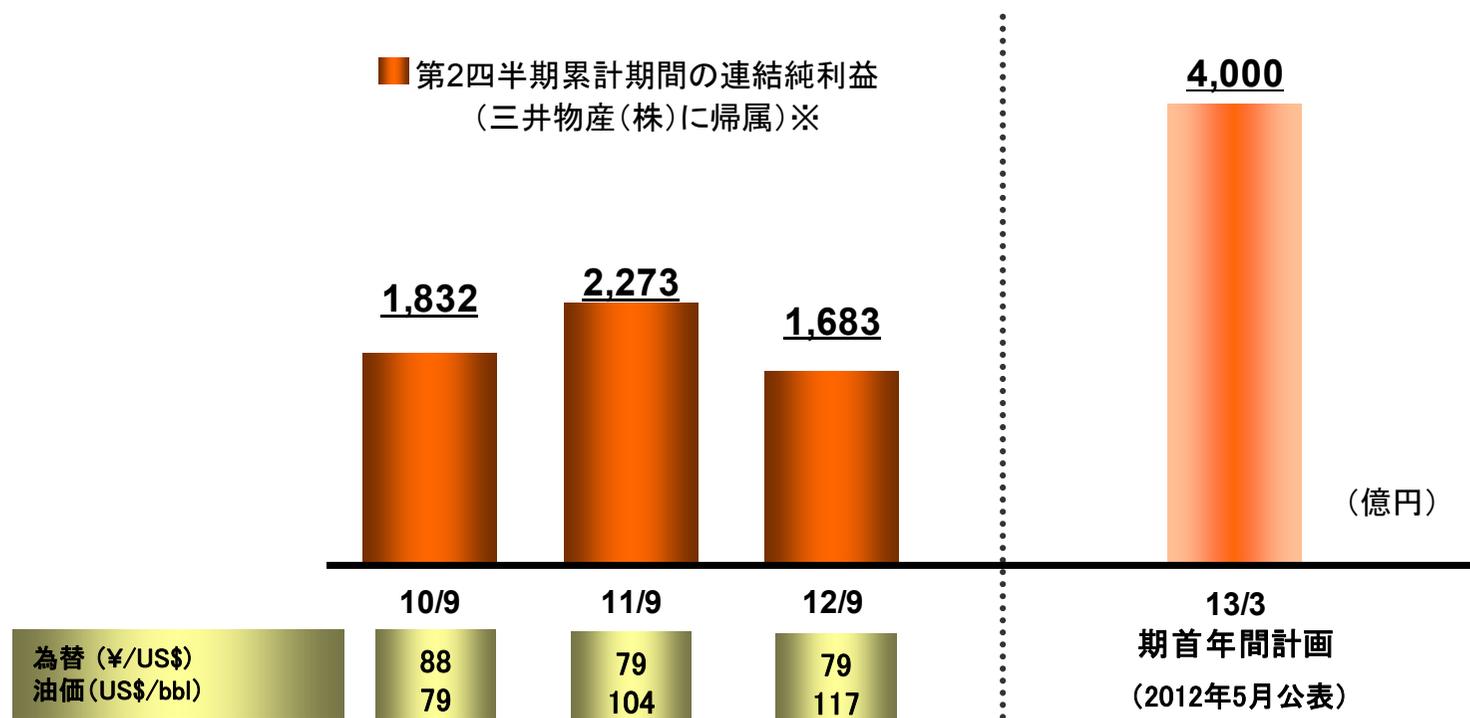
(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基くもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2013年3月期第2四半期決算 業績概要

世界経済は、欧州財政危機の悪影響が伝播、新興諸国経済の成長鈍化により景気減速感が強まる。

✓ 上半期純利益は、鉄鉱石価格の下落や景気減速を背景に1,683億円、前年同期比590億円の減益。

✓ コスト競争力ある鉄鉱石、原油・ガスの生産量増により収益を下支え、ポートフォリオ良質化に進捗あり。



※本資料では次頁以降「第2四半期累計期間の連結純利益 (三井物産(株)に帰属)」を「四半期純利益」と表記しております。

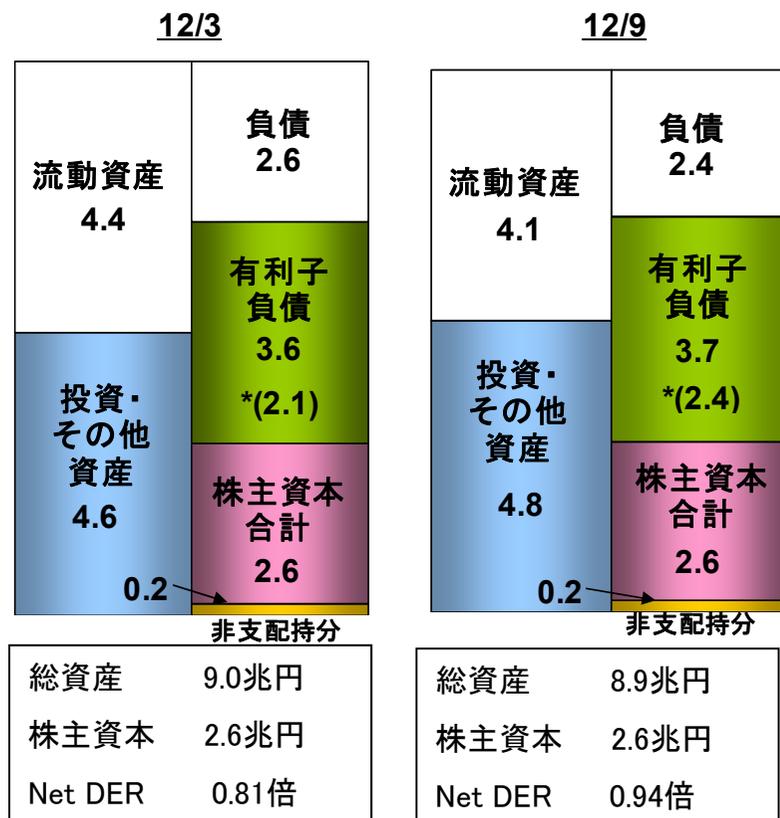
2013年3月期第2四半期 投融資計画の進捗

事業分野	通期 投融資計画	上半期 実行分 (億円)	主要案件
金属	2,000	3,000	コデルコ案件(銅鉱山)、豪州鉄鉱石の拡張、カセロネス銅鉱山開発
機械・ インフラ	2,000	500	鉱山機械レンタル事業、貨車・機関車リース事業、 伯FPSOリース事業
化学品	500	100	
エネルギー	2,500	2,050	ブラウズLNG(JAL-MIMI増資)、 シェールガス・オイル開発、石油・ガス/石炭拡張
生活産業	500	200	
次世代・ 機能推進	500	150	
投融資合計	8,000	6,000	
リサイクル	▲1,600	▲900	サハリンII有償減資、日本ユニシス株式売却、 船舶融資回収、ティーガイア株式売却、 Valepar優先株償還
ネット	6,400	5,100	

バランスシート、キャッシュ・フロー

バランスシート

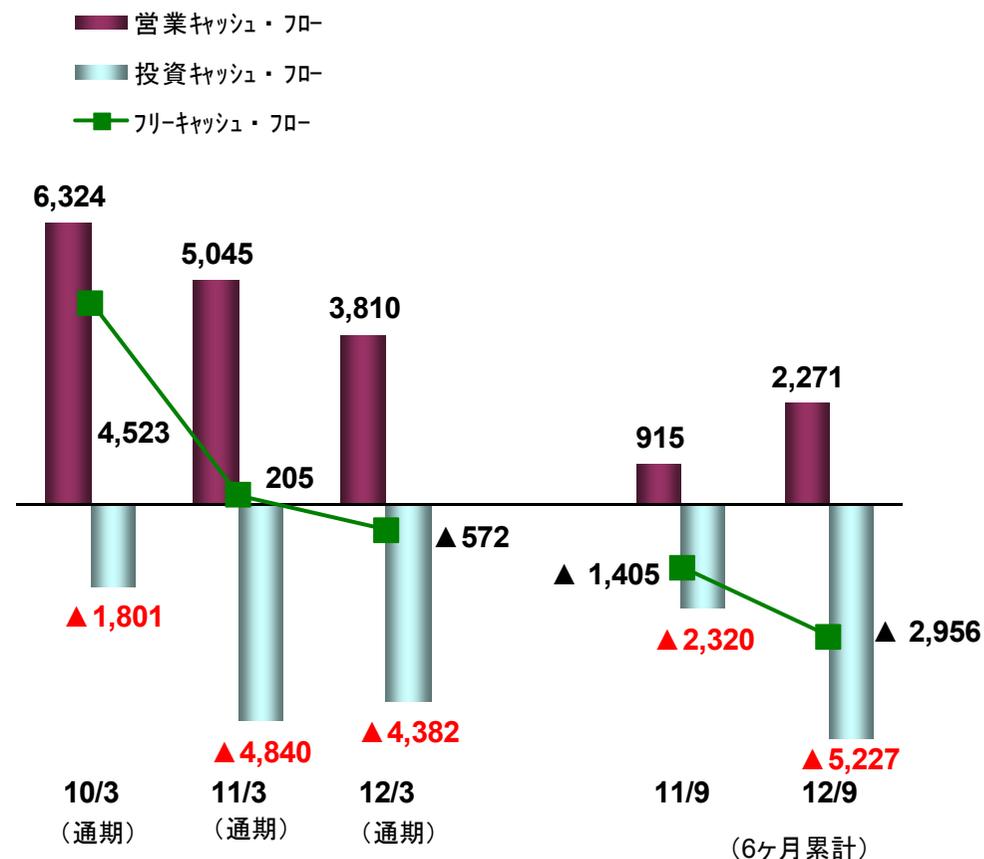
(兆円)



(*)有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

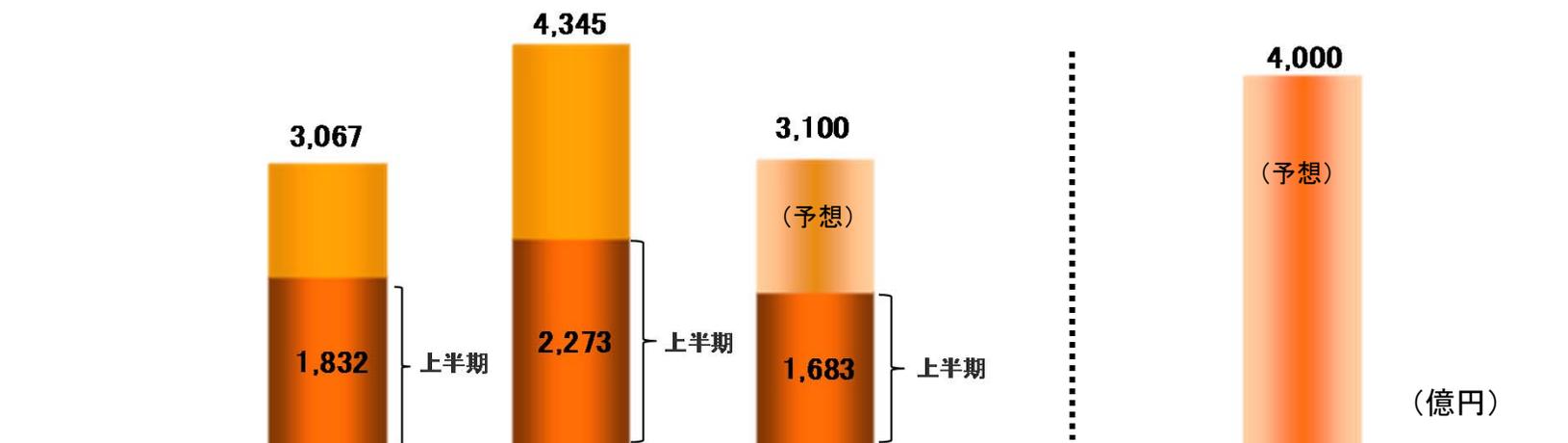
キャッシュ・フロー

(億円)



年間業績予想

2013年3月期当期純利益予想(修正)



13/3期首計画 (2012年5月公表)	価格変動の13/3期当期純利益 への影響額 (2012年5月公表)		13/3通期予想 (上・下平均値) (2012年11月公表)	13/3 (2012年5月公表)	
	市況商品			13/3上半期 (実績)	13/3下半期 (前提)
110	市況商品	原油/JCC	12 億円 (US\$1/バレル)	114	100
113		連結油価(*1)		111	105
(*2)		鉄鉱石	19 億円 (US\$1/トン)	(*2)	124.5(*3)
7,625		銅	(*4)	8,087(*5)	7,500(*6)
8.5		ニッケル	18 億円 (US\$1/ポンド)	8.0	8.4(*5)
80	為替 (*7)	米ドル	16 億円 (¥1/米ドル)	78.97	80
85		豪ドル	19 億円 (¥1/豪ドル)	80.77	80
45		伯リアル	8 億円 (¥1/伯リアル)	39.21	40

(*1) 油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されるため、この前提で連結油価を計算。
13/3期は、12%が6ヶ月遅れ、62%が3ヶ月遅れ、26%が遅れ無しで反映されると想定される。

(*2) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

(*3) 鉄鉱石の13/3期上半期実績欄には、2012年4月~9月の複数業界紙によるスポット価格指標 Fe 62% CFR North China の平均値(参考値)を記載。

(*4) 銅価格変動の当期純利益への影響額は非開示。

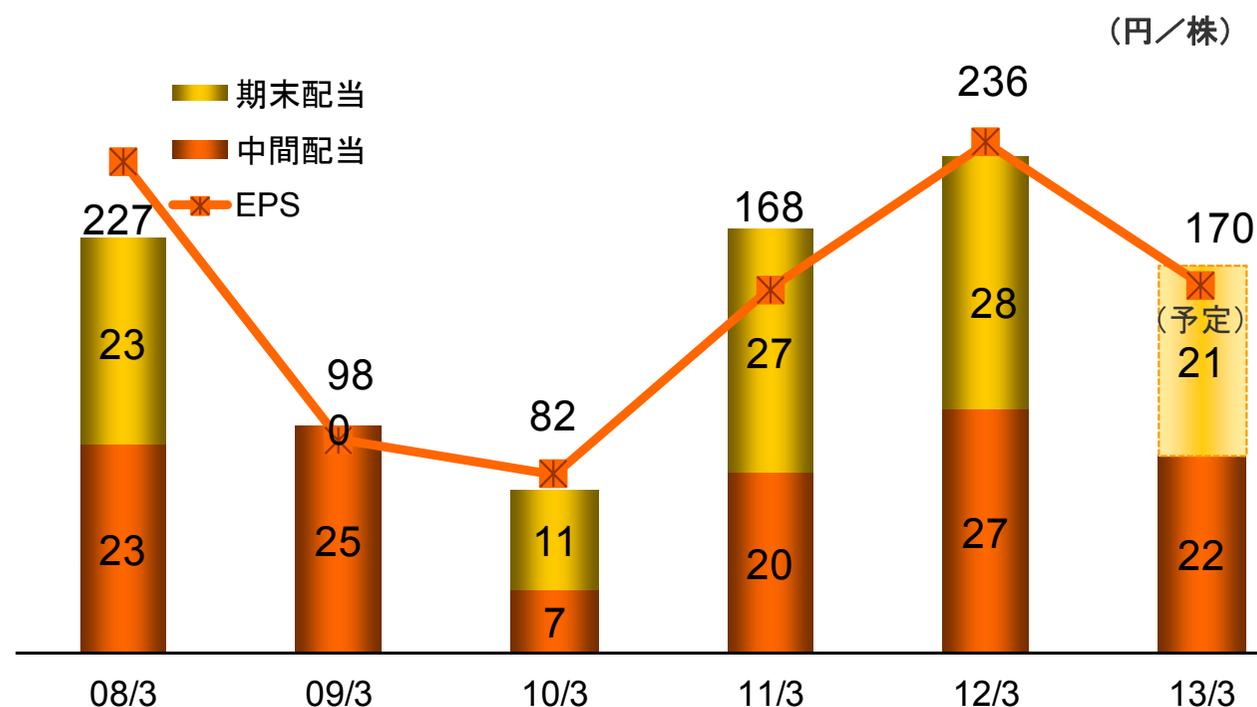
(*5) 銅・ニッケルの13/3期上半期実績欄には、LME cash settlement priceの2012年1月~6月平均を記載。銅価格はトン換算、ニッケル価格はポンド換算。

(*6) 銅・ニッケルの13/3期下半期(前提)欄には、13/3期4Qに適用される前提価格を記載。

(*7) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。

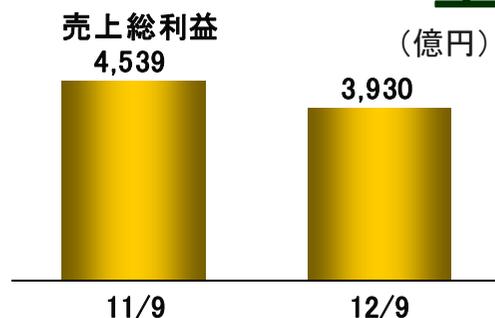
2013年3月期 株主還元策

- ・連結配当性向 25%の方針
- ・当期純利益予想 3,100億円を前提に、年間配当43円/株を予定。
内、中間配当は22円



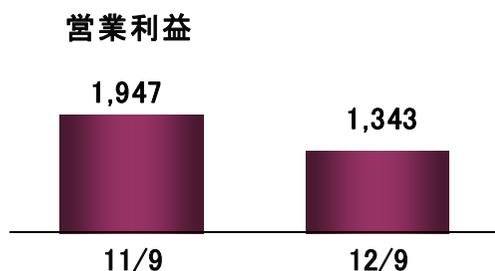
補足説明

主要PL項目の前年同期比増減



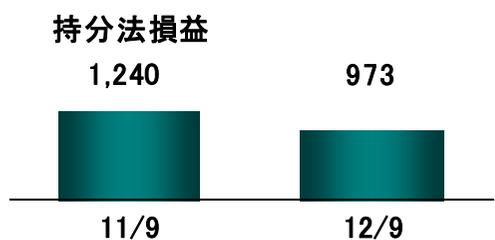
売上総利益3,930億円 前年同期比 ▲609億円 (▲13%)

- ↓ MIODは、数量増加の一方、鉄鉱石価格下落により▲210億円、MIIは鉄鉱石価格下落により▲113億円
- ↓ MCHIは、石炭価格下落により▲128億円、石油トレーディング事業は市況悪化により▲68億円
- ↓ MEPUSAは、数量増加の一方、減価償却費用の負担増、米国ガス価格下落により▲66億円
- ↓ コーヒー先渡契約に係るMtMの振り戻し益反動減▲46、Multigrainは早魃により▲32億円
- ↑ 三井石油開発は、数量増加により+110億円、MEPMEは価格上昇、数量増加により+44億円、MEPTXの新規貢献+43億円



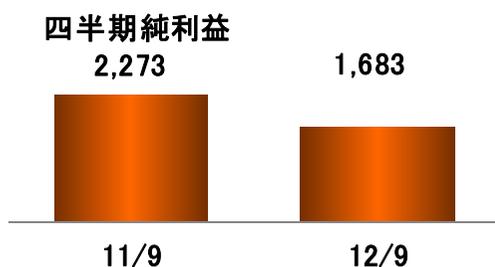
営業利益 1,343億円 前年同期比 ▲604億円 (▲31%)

- ↓ 売上総利益減少



持分法損益 973億円 前年同期比 ▲267億円 (▲22%)

- ↓ Valeparは、鉄鉱石価格下落や為替の影響を主因に▲260億円、RRMCは、数量増加の一方、鉄鉱石価格下落により▲87億円
- ↓ 海外発電事業は、電力デリバティブ契約などに係る時価評価損益▲74億円悪化を主因に▲81億円
- ↑ 前年同期：株価下落による評価損の反動+284億円：TPV+148億円、もしもホットライン+67億円、日本ユニシス+60億円ほか

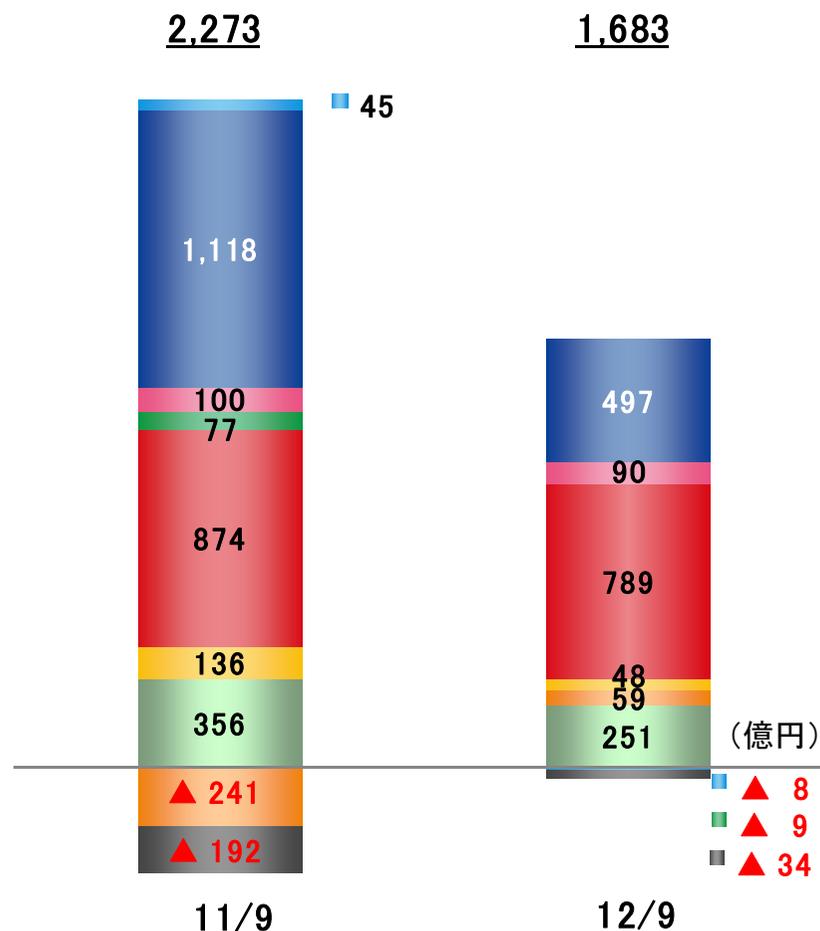


四半期純利益 1,683億円 前年同期比 ▲590億円 (▲26%)

- ↓ 前年同期：Shark Bay塩田内鉱区の一部返還に対する補償金の反動(税前) ▲58億円
- ↓ 探鉱費(税前) ▲46億円
- ↓ 有価証券評価損(税前) ▲30億円
 - 上半期 : 新日鐵▲49億円、三井化学▲30億円
 - 前年同期 : Formosa▲40億円
- ↑ 受取配当金(税前)+75億円(サハリンIIを主因にLNGプロジェクト+90億円)
- ↑ 有価証券売却損益(税前)+38億円
 - 上半期 : IHH+55億円(みなし売却益)、日本ユニシス+48億円
 - 前年同期 : Multigrain既存持分の公正価値評価益+36億円

セグメント別上期純利益の前年同期比増減

(数値は税後ベース)



■ 金属資源 497億円 前年同期比 ▲621億円 (▲56%)

- ↓ Valeparは、鉄鉱石価格下落や為替の影響を主因に▲166億円*
- ↓ MIODは、数量増加の一方、鉄鉱石価格下落により▲194億円**、MIIは、同価格下落により▲50億円**
- ↓ JCR(コジャワシ)は、数量減少を主因に▲30億円*

■ 生活産業 48億円 前年同期比 ▲88億円 (▲65%)

- ↓ Multigrainは、早魃により▲36億円
- ↓ 前年同期: コーヒーの先渡し契約に係るMtM振り戻し益反動減▲29億円、Multigrain既存持分の公正価値評価益の反動減▲18億円
- ↑ IHHのみなし売却益+36億円

■ 化学品 ▲9億円 前年同期比 ▲86億円

- ↓ 前年同期: Shark Bay塩田内鉱区の一部返還に対する補償金の反動減 ▲36億円
- ↓ 三井化学株式の評価損▲30億円

■ エネルギー 789億円 前年同期比 ▲85億円 (▲10%)

- ↑ LNGプロジェクトの受取配当金増加により+99億円
- ↑ MEPTXの新規貢献+41億円(税前)、数量増加により三井石油開発増益
- ↓ MEPUSAは、数量増加の一方、減価償却費用の負担増、米国ガス価格下落により▲58億円(税前)
- ↓ MCHは、数量増加・コスト減の一方、石炭価格下落により▲70億円**
- ↓ 市況悪化により石油トレーディング事業減益

■ 次世代・機能推進 59億円 前年同期比 +300億円

- ↑ 前年同期: 上場有価証券評価損の反動+304億円
TPV+154億円、もしもしホットライン+67億円、日本ユニシス+60億円、Formosa+24億円
- ↑ 有価証券売却益 日本ユニシス+56億円

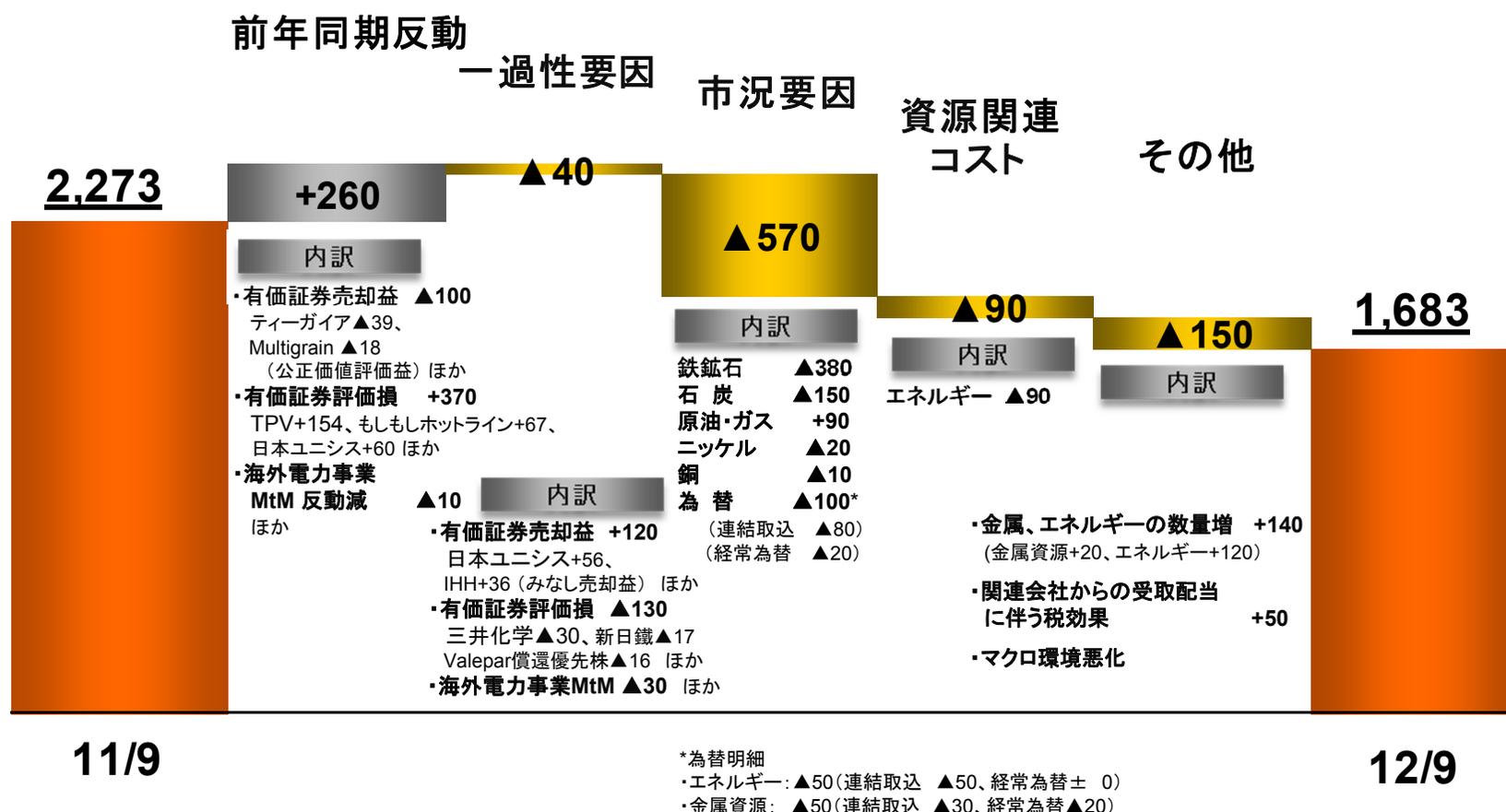
■ 鉄鋼製品 ■ 機械・インフラ ■ 海外 ■ その他、調整・消去

*親会社における未分配利益に関する税効果控除後。適用税率: 11/9: 41%、12/9: 36%
**当セグメント持分

前年同期比の増減要素

(億円)

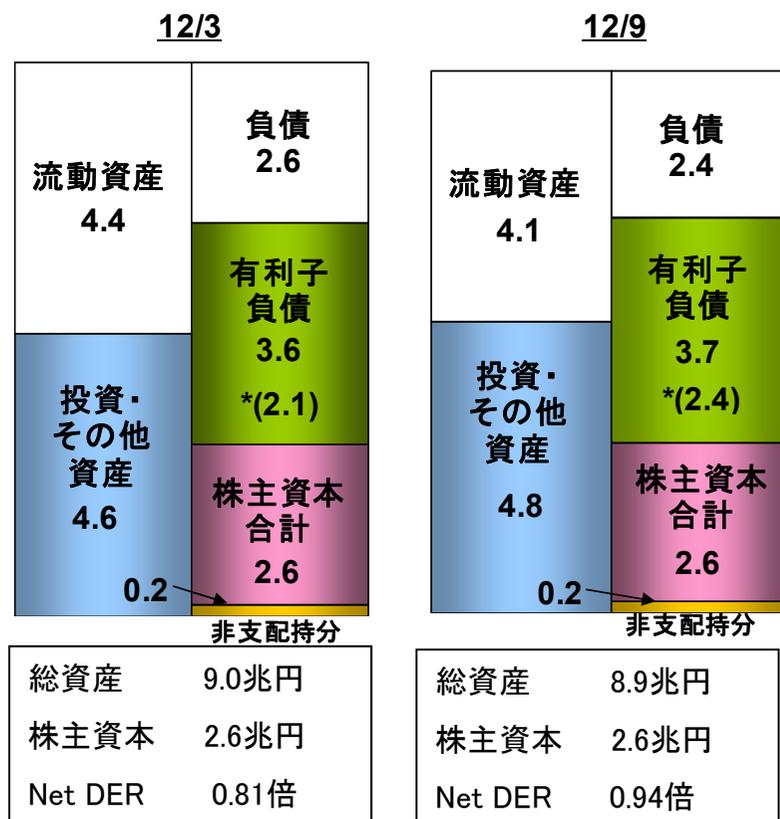
(数値は税後ベース)



バランスシート、キャッシュ・フロー

バランスシート

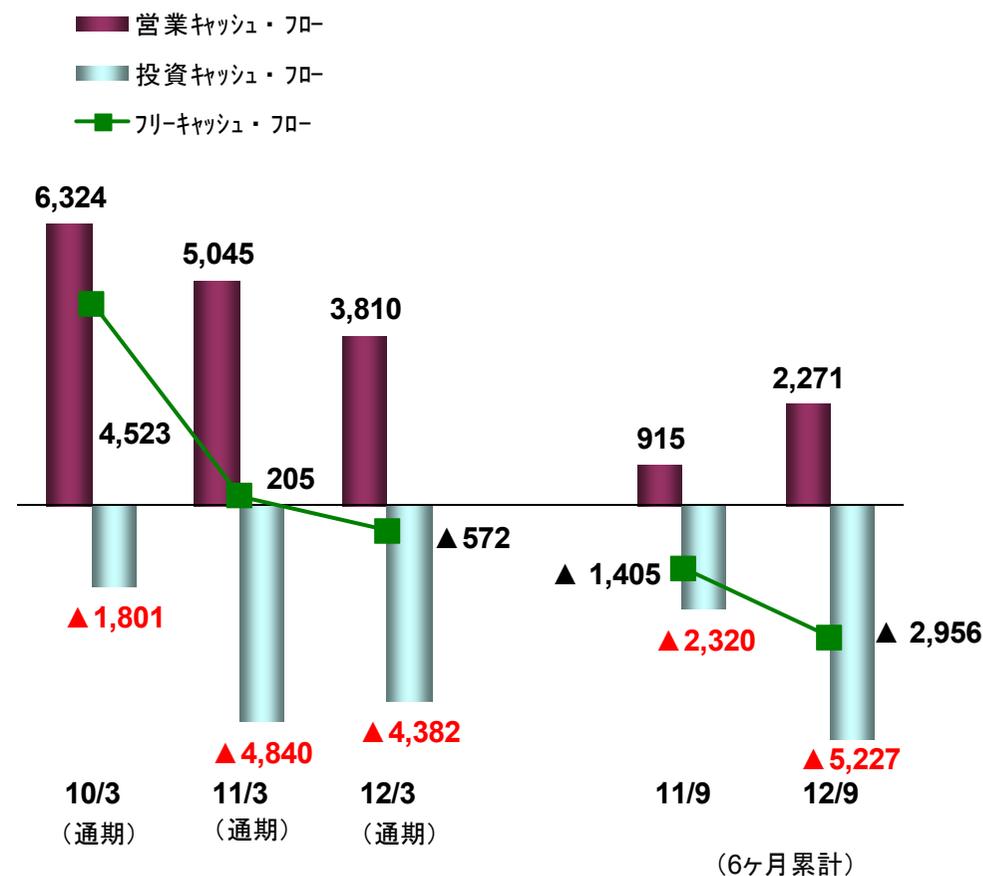
(兆円)



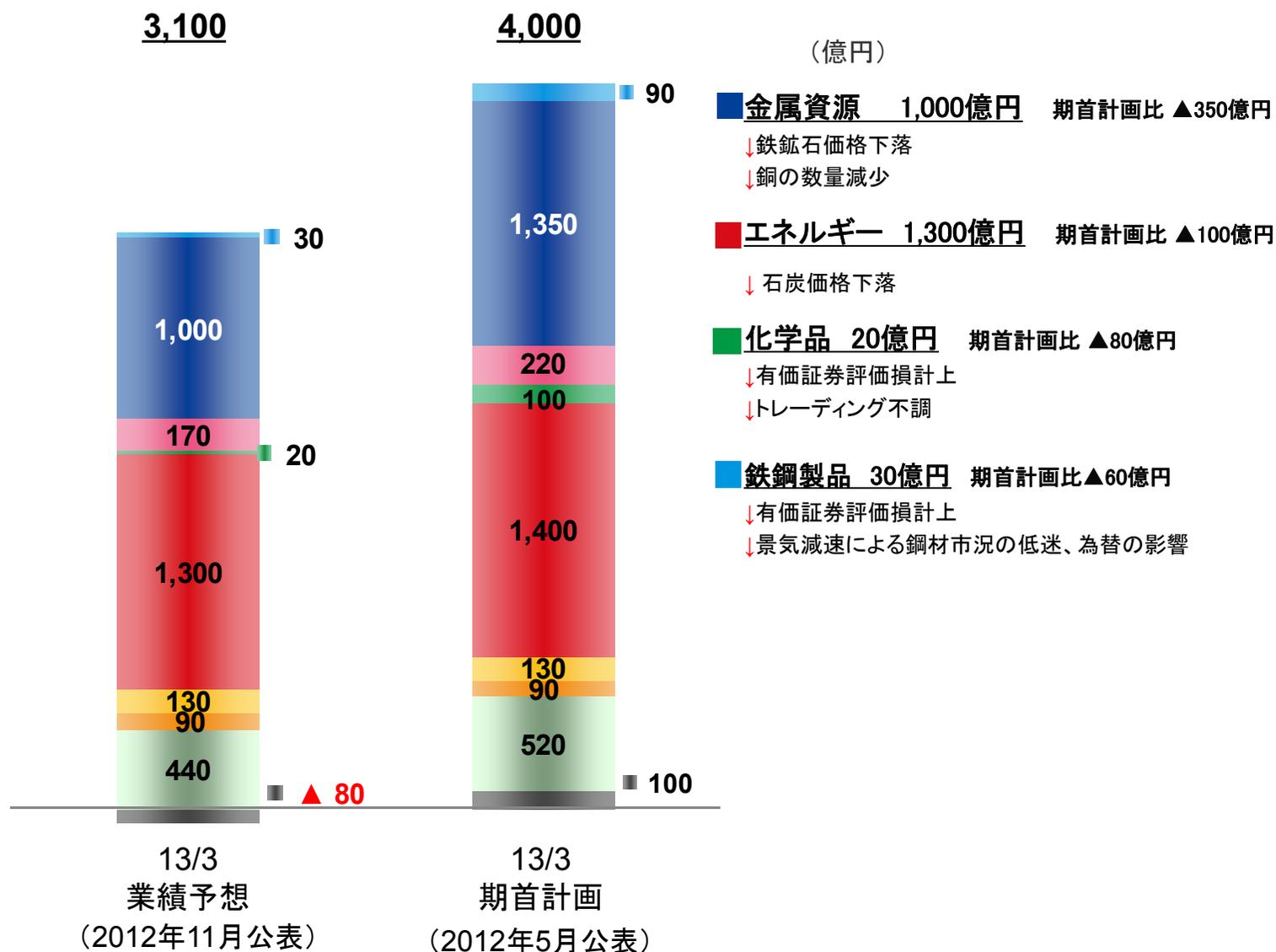
(*)有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

キャッシュ・フロー

(億円)



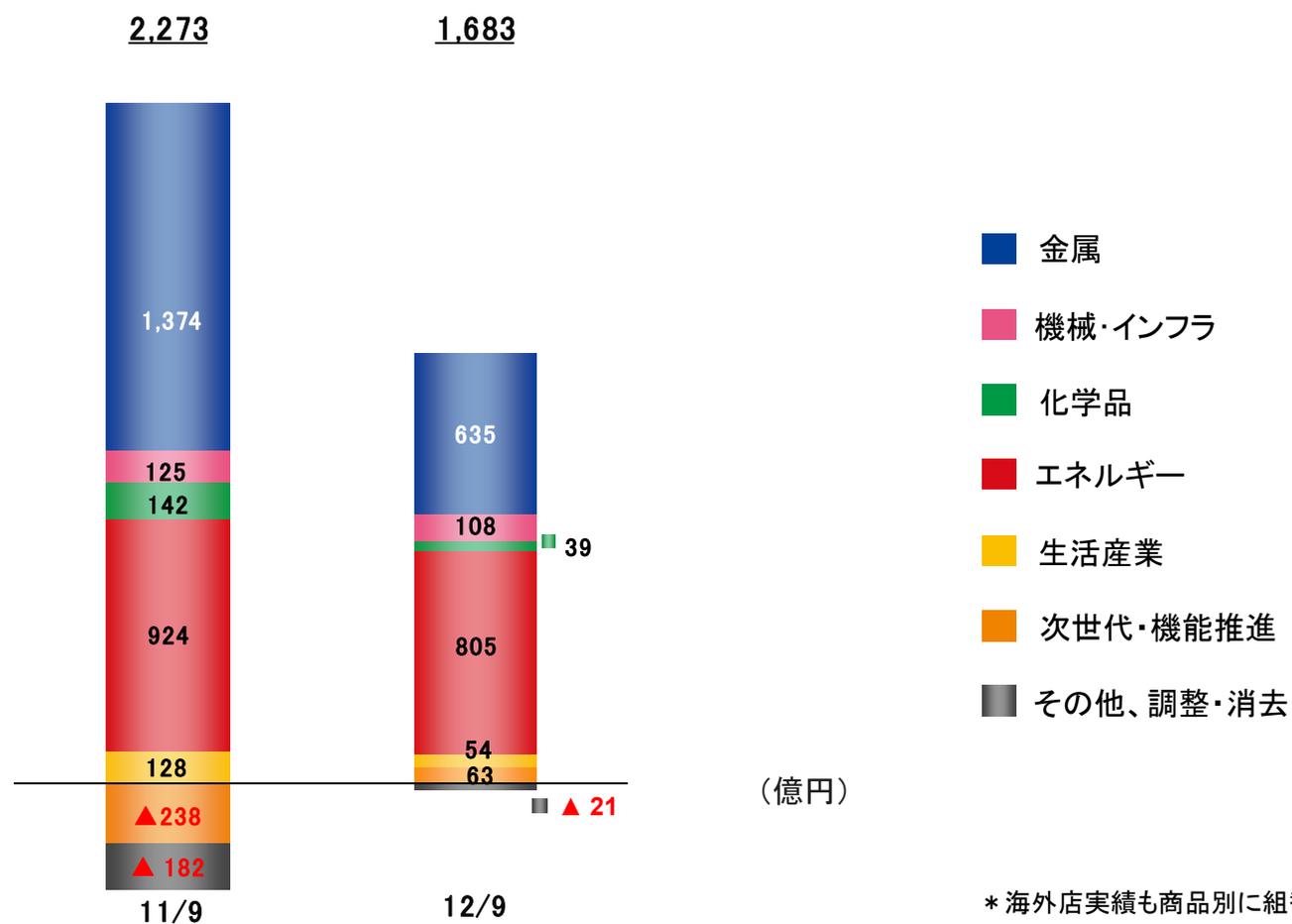
オペレーティングセグメント別当期純利益予想(修正)



■ 機械・プロジェクト
 ■ 生活産業
 ■ 次世代・機能推進
 ■ 海外
 ■ その他、調整・消去

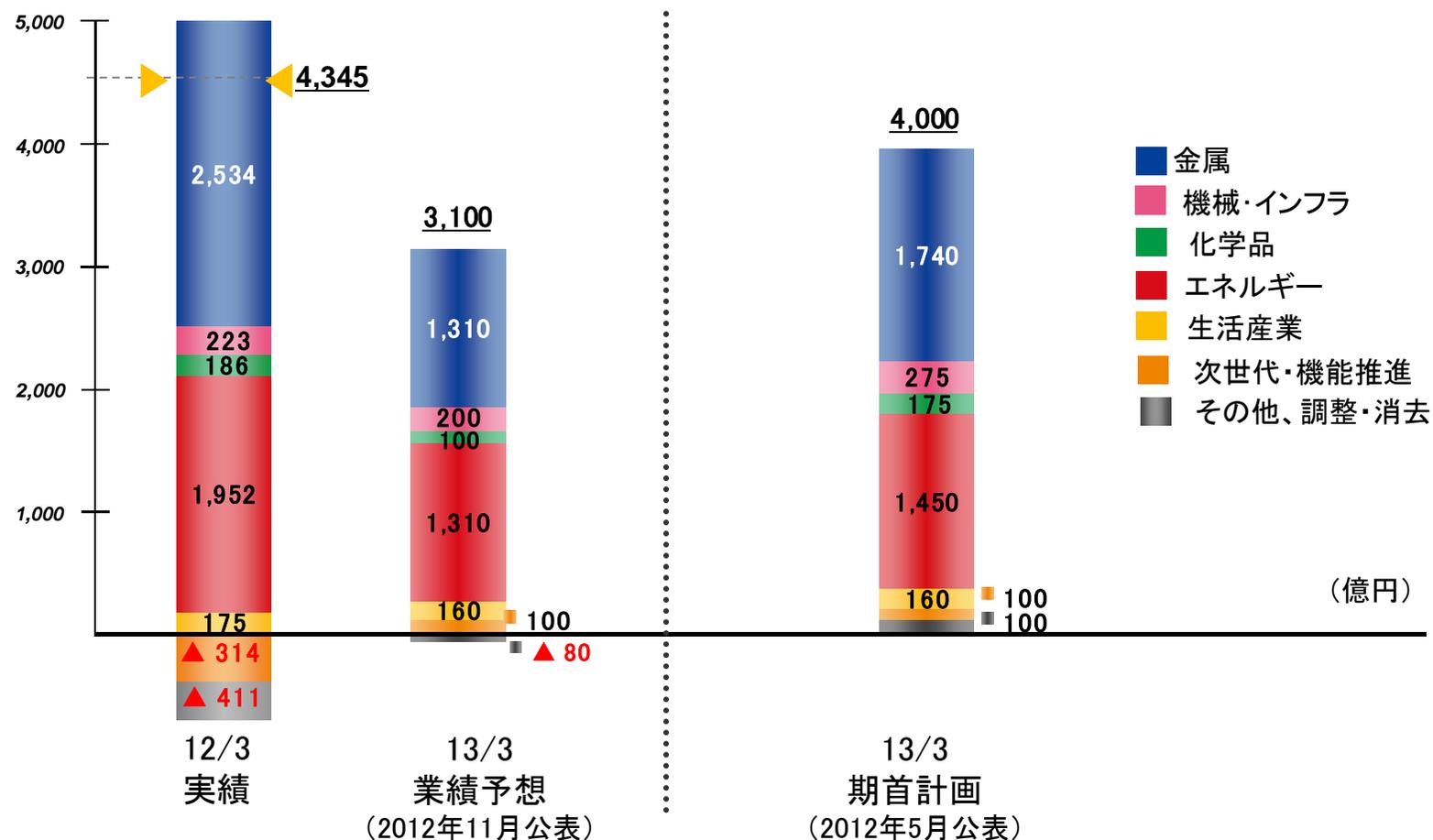
Appendix

全世界ベース 事業分野別上半期純利益(参考値*)



全世界ベース 事業分野別当期純利益予想

(参考値*)



* 海外店実績も事業分野別に組替え算出した参考データ

2013年3月期 市況の前提・感応度

13/3期首計画 (2012年5月公表)	価格変動の13/3期当期純利益 への影響額 (2012年5月公表)		13/3通期予想 (上・下平均値) (2012年11月公表)
110	市 況 商 品	原油/JCC	12 億円 (US\$1/バレル)
113		連結油価(*1)	
(*2)		鉄鉱石	19 億円 (US\$1/トン)
7,625		銅	(*4)
8.5		ニッケル	18 億円 (US\$1/ポンド)
80	為 替 (*7)	米ドル	79.49
85		豪ドル	80.39
45		伯リアル	8 億円 (¥1/伯リアル)

13/3上半期 (実績)	13/3下半期 (前提)
114	100
117	105
124.5 ^(*3)	(*2)
8,087 ^(*5)	7,500 ^(*6)
8.4 ^(*5)	7.5 ^(*6)
78.97	80
80.77	80
39.21	40

(*1) 油価は0~6ヶ月遅れで当社業績に反映されるため、この前提で連結油価を計算。

13/3期は、12%が6ヶ月遅れ、62%が3ヶ月遅れ、26%が遅れ無しで反映されると想定される。

(*2) 鉄鉱石の前提価格は非開示。

(*3) 鉄鉱石の13/3期上半期実績欄には、2012年4月~9月の複数業界紙によるスポット価格指標 Fe 62% CFR North China の平均値(参考値)を記載。

(*4) 銅価格変動の当期純利益への影響額は非開示。

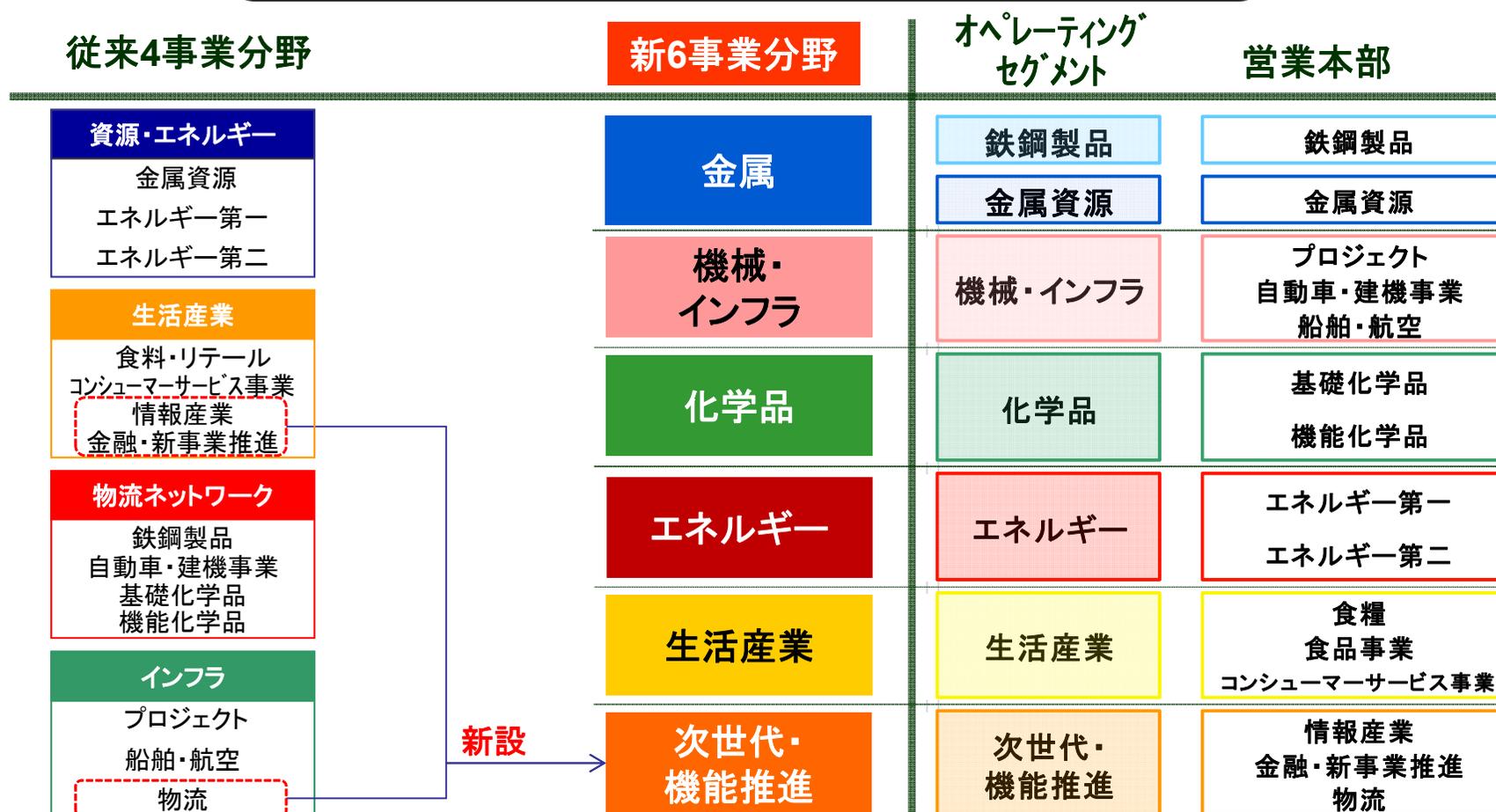
(*5) 銅・ニッケルの13/3期上半期実績値欄には、LME cash settlement priceの2012年1月~6月平均を記載。銅価格はトン換算、ニッケル価格はポンド換算。

(*6) 銅・ニッケルの13/3期下半期(前提)欄には、13/3期4Qに適用される前提価格を記載。

(*7) 各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期純利益に対する感応度。

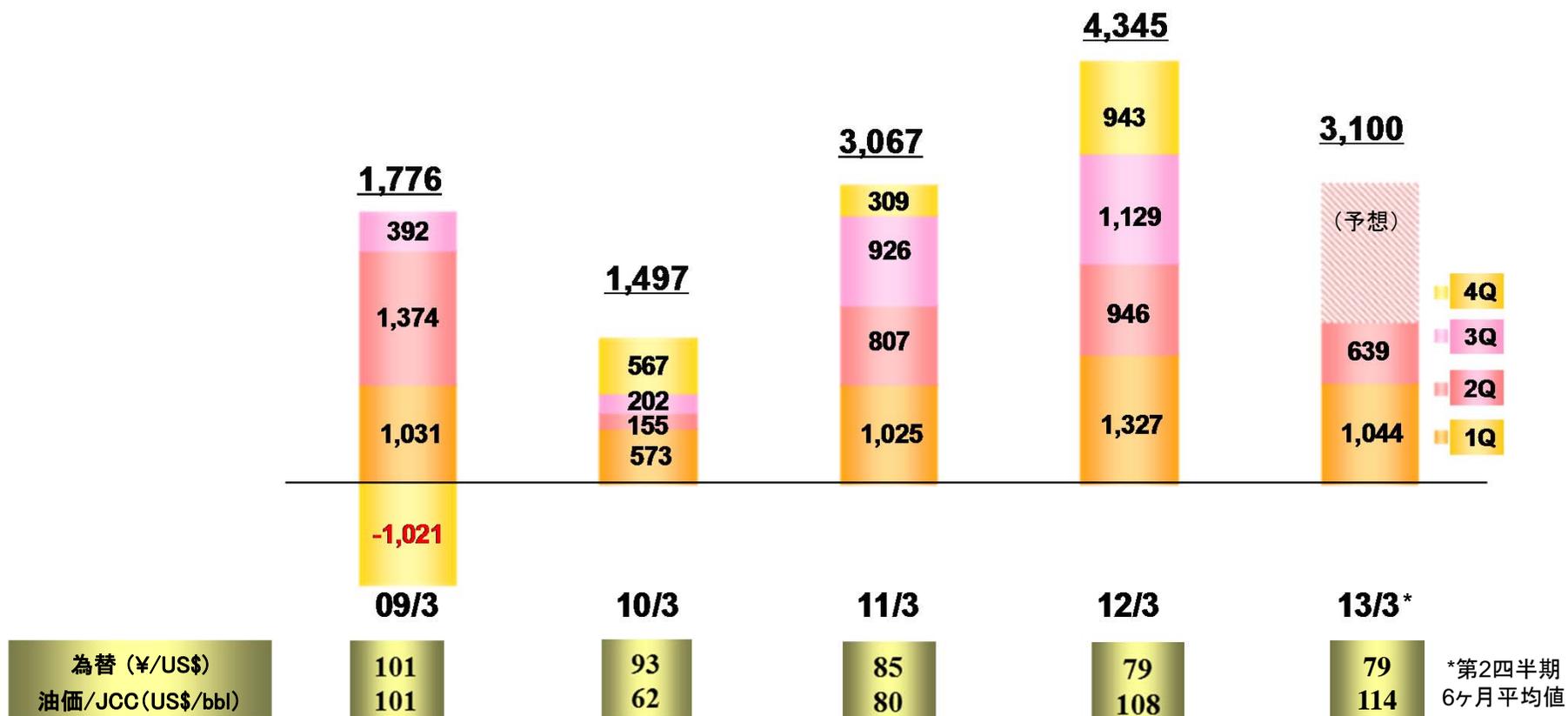
新6事業分野 事業分野組み替え

- 6事業分野への括り直し
- 「次世代・機能推進」分野を設定
 - ✓ 次世代を担うビジネスの創造・尖兵投資の担い手
 - ✓ 全社注力分野の収益基盤強化に向け、機能を提供



四半期毎の純利益推移

(億円)



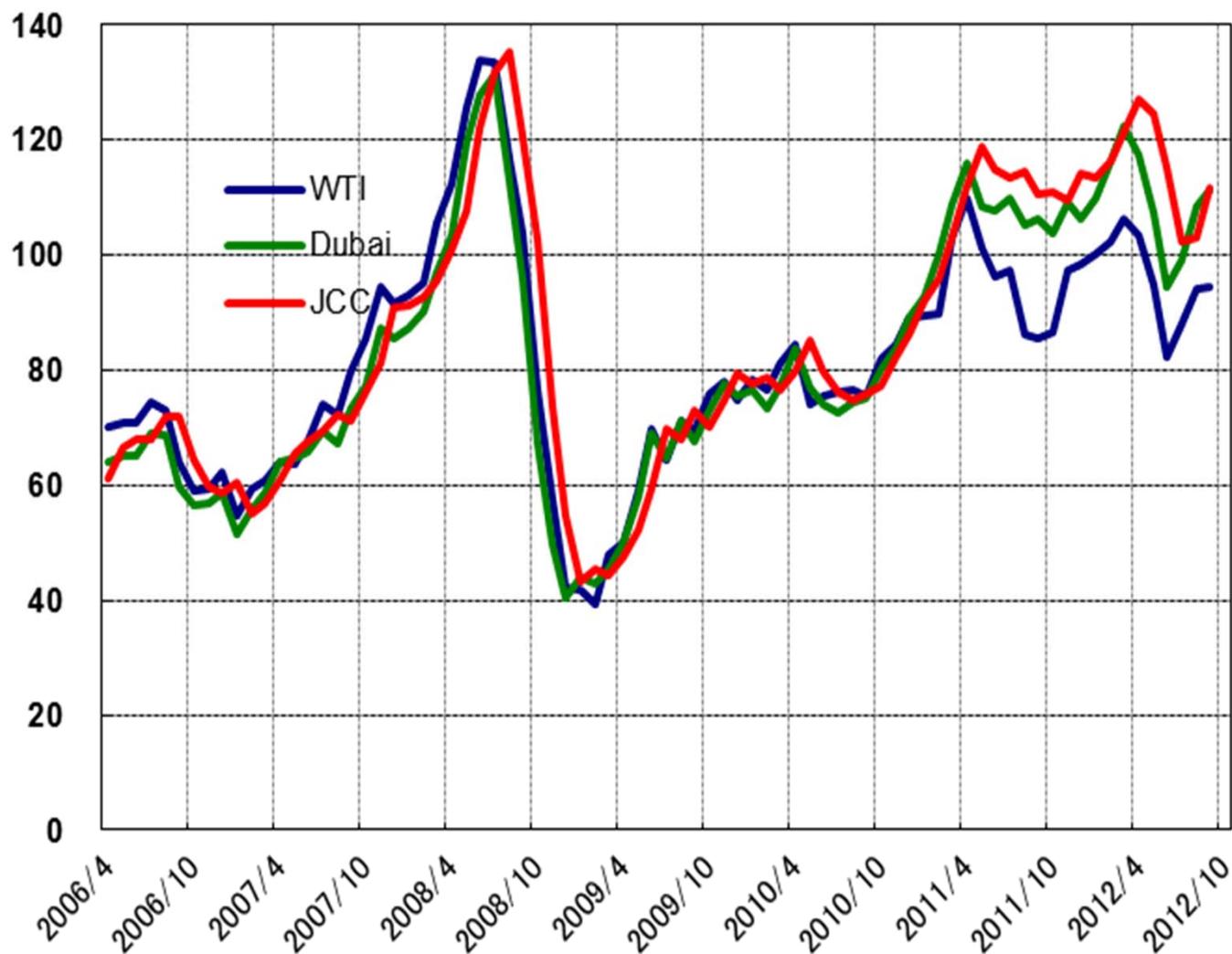
中国向け鉄鉱石スポット価格推移* (参考値)



*業界紙複数社によるスポット指標平均

原油価格推移

US\$/バレル



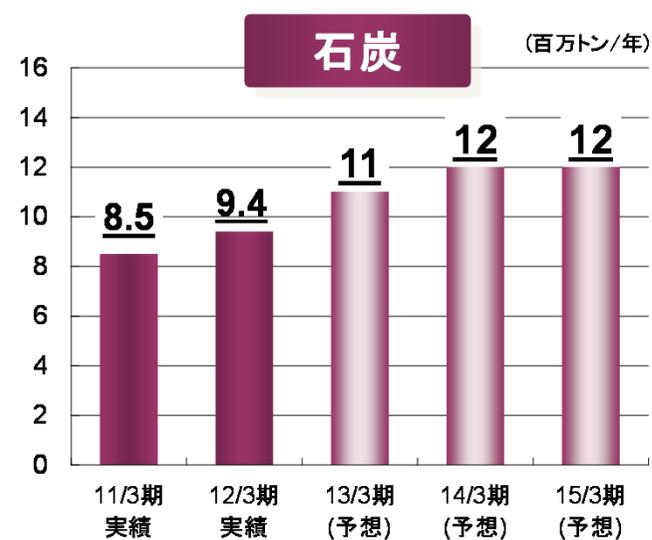
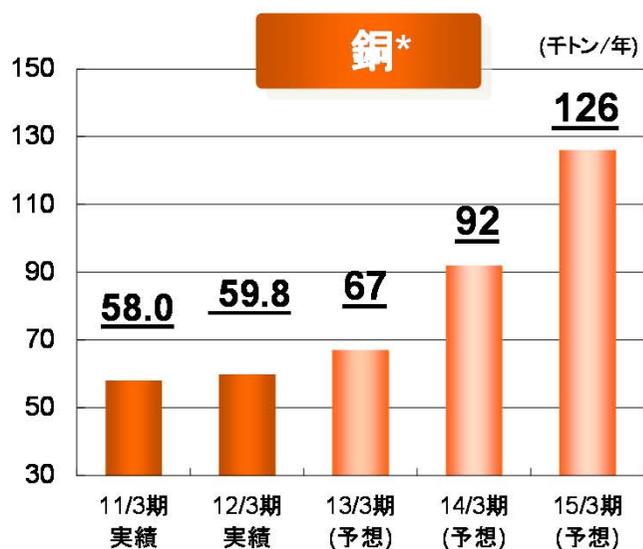
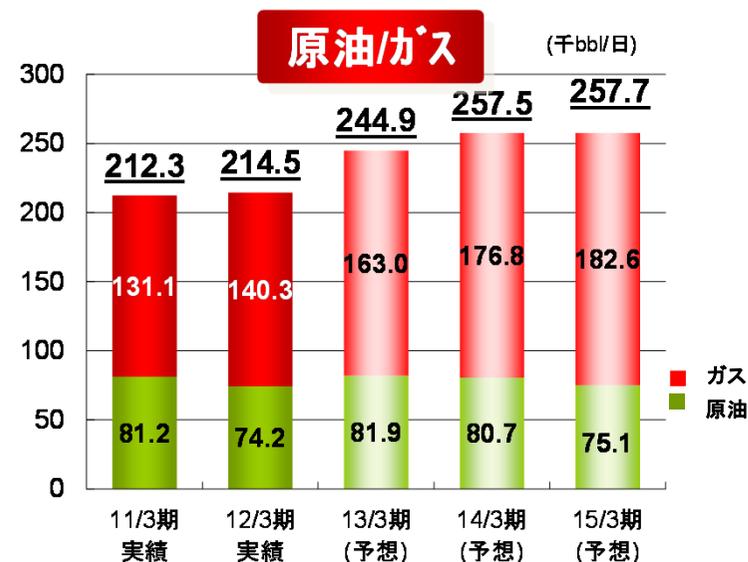
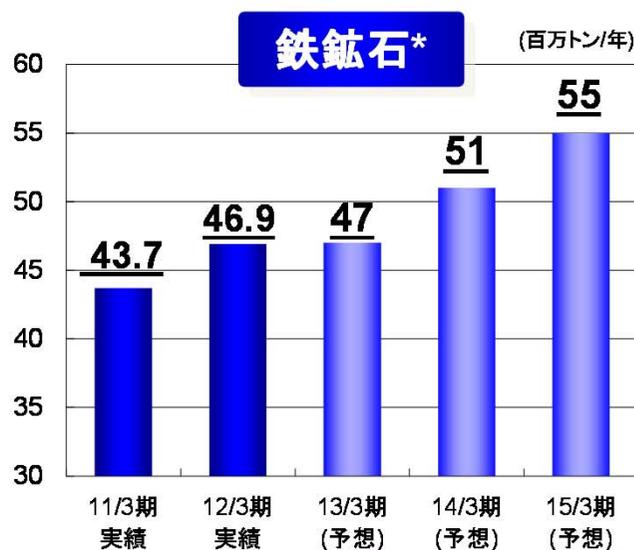
当社持分権益出荷量実績

	12/3期 1Q	12/3期 2Q	12/3期 3Q	12/3期 4Q	12/3期 累計	13/3期 1Q	13/3期 2Q*	13/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	10.7	11.7	12.2	11.2	45.8	11.4	12.4	23.8
MIOD	6.2	7.0	7.3	6.1	26.6	7.0	7.6	14.6
MII	1.1	1.1	1.0	1.0	4.2	1.1	1.0	2.1
Vale**	3.4	3.6	3.9	4.1	15.0	3.3	3.8	7.1
石炭 (百万トン)	1.7	2.4	2.7	2.4	9.2	2.4	2.5	4.9
MCH	1.5	2.1	2.4	2.1	8.1	2.1	2.2	4.3
BMC**	0.2	0.3	0.3	0.3	1.1	0.3	0.3	0.6
原料炭	1.1	1.8	2.3	1.8	7.0	1.9	1.7	3.6
一般炭	0.6	0.6	0.4	0.6	2.2	0.5	0.8	1.3
銅 (千トン)***	12.5	14.6	16.5	17.1	60.7	11.1	10.9	22.0

*石炭は速報数値 ** Vale及びBMCは1Q:1-3月、2Q:4-6月、3Q:7-9月、4Q:10-12月の実績 ***Vale出荷分の5%含む

当社持分権益生産量

(2012年5月公表)



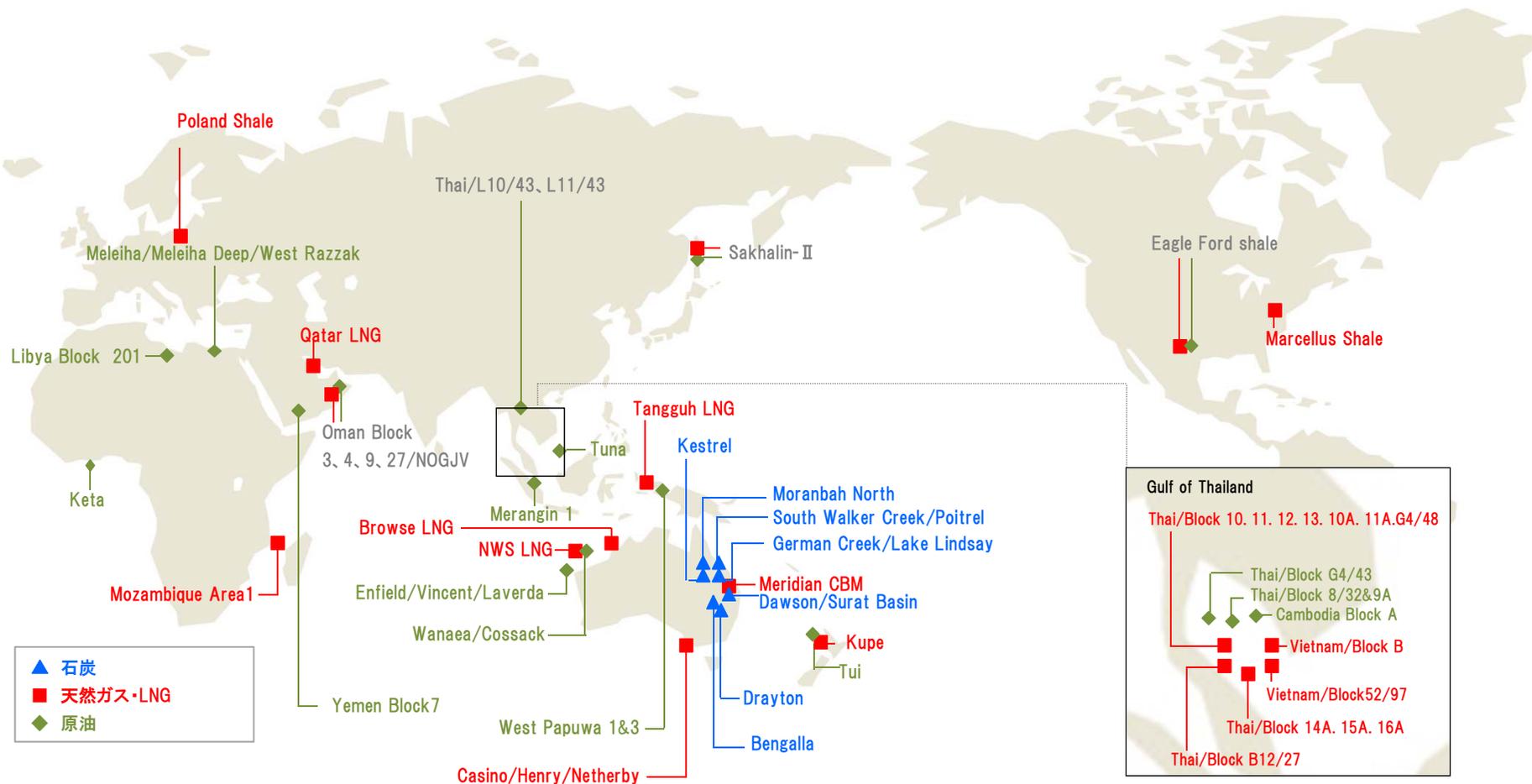
2012年9月末現在

金属資源の主なプロジェクト



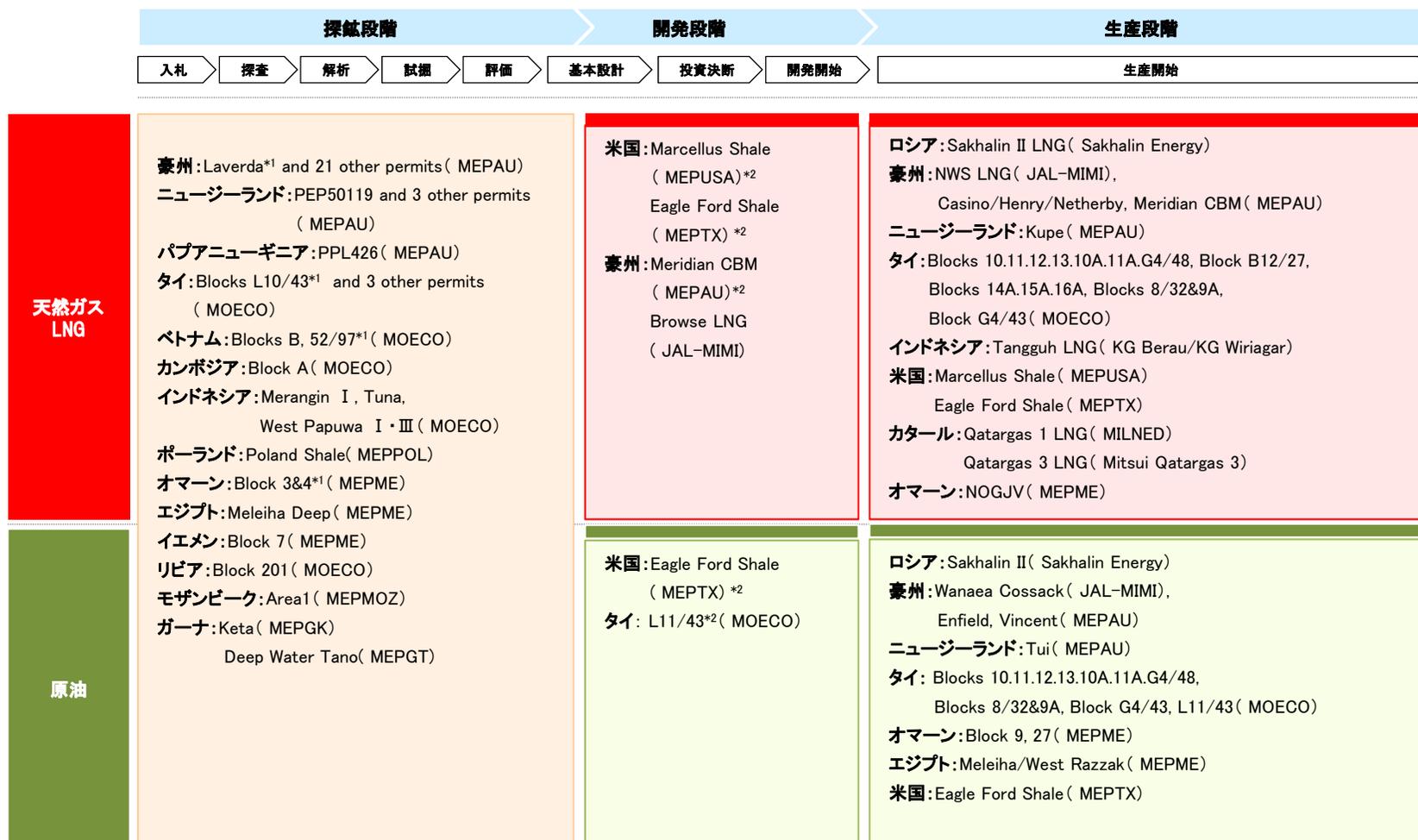
2012年9月末現在

エネルギーの主な上流権益



2012年9月末現在

原油・ガスの主な上流権益



*1 既発見未開発鉱区 *2 一部生産段階移行済

2012年9月末現在

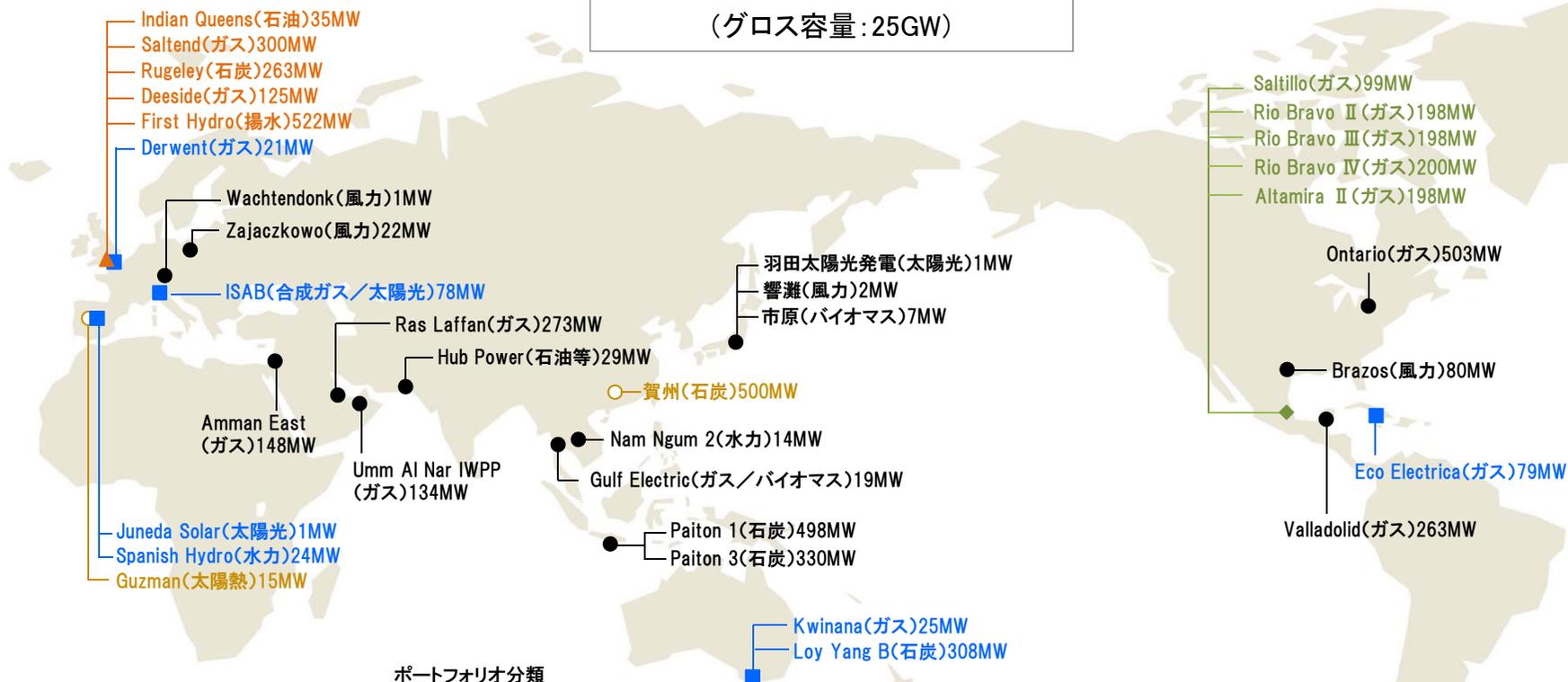
鉄鋼製品の主な事業投資



2012年9月末現在

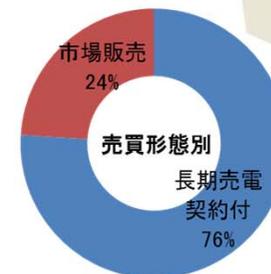
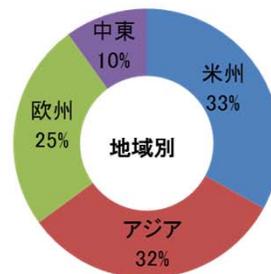
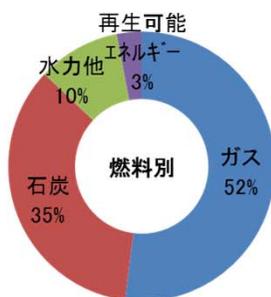
発電事業ポートフォリオ

当社持分発電容量(ネット): 5.5GW
(グロス容量: 25GW)



- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
■ IPM Eagle社保有資産
◆ MT Falcon保有資産
● その他
○ 建設中発電所

ポートフォリオ分類



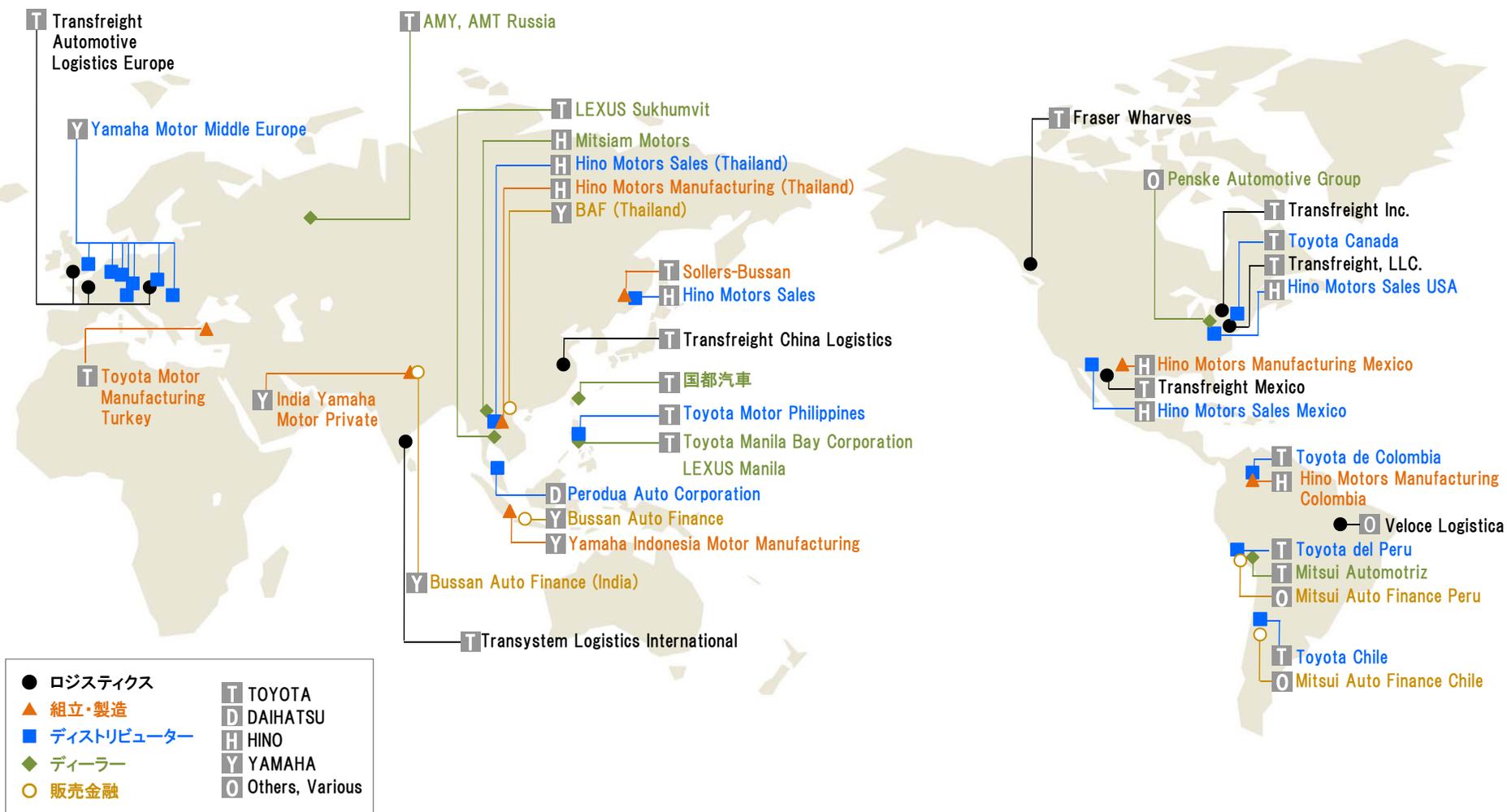
2012年9月末現在

発電以外の主なインフラ・プロジェクト



2012年9月末現在

自動車事業ポートフォリオ



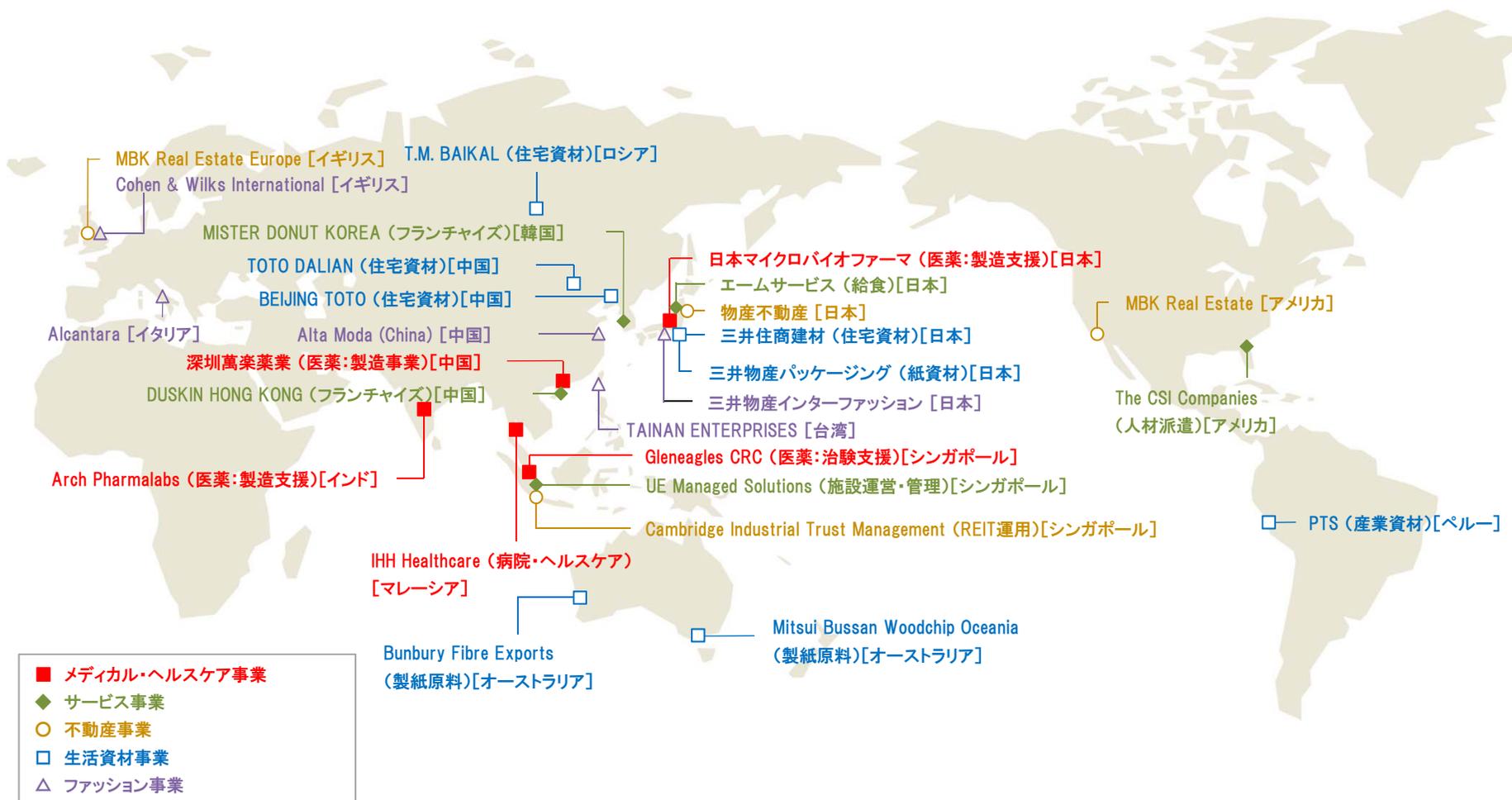
2012年9月末現在

食糧・食品事業の主な海外事業投資



2012年9月末現在

コンシューマーサービスの主な事業投資



2012年9月末現在

化学品の主な物流事業型投資



2012年9月末現在

化学品の主な製造事業型投資

